

助成事業申請書 (手引き)

必ず7枚以内でまとめてください

公益財団法人あいちコミュニティ財団
「住友理工あったか未来基金」
2015年度助成事業申請書

投函日をご記入ください。

公益財団法人あ

団体名ではなく事業名をご記入ください。

申請日： 年 月 日

1. 申請団体について

万円単位でご記入ください。

(1) 基本情報 ※のみ【公開】/最終(公開プレゼンテーション)

事業名 (※)			
申請金額 (※)			万円
(ふりがな) 団体名 (※)	代表印を押印ください。		
(ふりがな) 代表者氏名 (※) (役職)	ビルやマンション名もご記入ください。		(印)
団体所在地 (※)	〒	TEL :	
		FAX :	
		E-mail :	
(ふりがな) 担当者氏名 (役職)	(TEL :	いずれかへの参加が必須条件です。
)	E-mail :	
「募集説明会」「個別相談会」への参加	募集説明会 ・ 個別相談会 (○を付けてください)		
認定ファンドレイザー認定者	准認定ファンドレイザー		有 ・ 無
日本ファンドレイジング協会が実施する資格制度です。	認定ファンドレイザー		有 ・ 無
	氏名 :	役職 :	
CANPANでの情報開示レベル★5つ取得	済 ・ 未 (○を付けてください)		

今回の助成事業の実務上の責任者となる方をご記入ください。

日本ファンドレイジング協会が実施する資格制度です。

(2) ゴール、ミッション、ポジション

ゴール (地域や社会のありたい姿)	
ミッション (申請団体が果たす役割)	
ポジション (他団体が果たす役割)	

(3) 団体の強みと弱み、外部環境の機会と脅威 (各項目 3 つまで)

団体内	【強み】	【弱み】
	資源、顧客サービス、価格、コスト、市場における知名度・評判、環境、人材、財務など	
団体外	【機会】	【脅威】
	・ 競合他社の動向、市場の伸び、法規制、景気動向、ニーズの変化 外部環境は、団体のことではなく、地域や社会のことをご記入ください。	

(4) これまでの主な事業と成果 (補助・助成事業の場合は、補助・助成元と金額も記入してください)

※概要を箇条書きで記入してください。

数が多くて書ききれない場合は、
金額の大きいものから順にご記入ください。

(5) これまで「深刻化する子どもの課題解決」に取り組む中で、最も印象的なストーリー 【公開】

2. 申請事業について

(1) 解決に挑む地域や社会の課題 (800 字程度) 【公開】

※申請事業で解決を目指すのはどんな課題ですか？ 当事者の声や数字の根拠を示すなど、問題の深刻さ、解決の緊急性や重要性、既存の解決策の不十分さ等を説明してください。(「あいち『見える化』ウェブ」(<http://aichi-community.jp/mieruka/>) に掲載している過去の助成先の事例もご参照ください。)

(2) 申請事業の概要 (800 字程度) 【公開】

※申請事業で上記の課題をどのように解決しますか？ 解決策としての有効性等を説明してください。(「あいち『見える化』ウェブ」に掲載している過去の助成先の事例もご参照ください)

(3) 申請事業で解決したい課題の当事者 (優先順位の高い順に最大 3 つまで)

	当事者 (地域や年齢層も記入してください。)	当事者が抱える 主な課題	当事者の 総数	申請事業の 受益者数
1				
2				
3				

具体的にご記入ください。

(4) 実施体制（組織内外の役割分担や連携先などを記入してください）

	担当者氏名 会社名、外部団体名	団体との関係	役割・担当業務 (できるだけ詳細に)
1			
2			
3			
4			
5			

内部の人員体制、外部の協力者、ステークホルダーなど、できるだけ詳細にご記入ください。

(5) 課題の当事者を中心に置いた申請事業の相関図【公開】

※解決したい課題の当事者を中心に置き、申請事業の相関関係を図で表現してください。



(6) 申請事業の具体的な内容と目標

※事業実施期間：2015年10月1日～2016年3月31日のうちで任意

内容 \ 月	10	11	12	1	2	3
1)						
目標 (できるだけ数字で)						
2)						
目標 (できるだけ数字で)						
3)						
目標 (できるだけ数字で)						

(7) 申請事業が地域や社会にもたらす価値（優先順位の高い順に最大3つまで）

※申請事業は地域や社会にどんな効果を与えますか？（できるだけ数字で記入してください）

記入例	中長期展望 (申請事業の 3～5年後のありたい姿)	ビジョン (申請事業終了時 (16年3月末)の到達目標)	KPI (ビジョン達成を 判断するための評価指標)
1	就労支援を通じた雇用を 年3件以上創出している。	就労支援を通じた雇用創出が 1件できている。	利用者の就職面談の練習を 月5回以上行っている。
2	精神障がい者が社会に復 帰する前段階の居場所と なっている。	社会復帰を目指す精神障がい 者が10名以上参加している。	利用者の80%が週2回以上 休まずに通うことができ ている。
3			

(8) 申請事業実施後の展望

※申請事業実施後はどのように事業を展開しますか？

記入例	申請事業実施後（16年4月以降）
組織 (実施体制)	スタッフ1名を雇用し、事業を継続する。
事業 (実施内容)	就労支援のプログラム内容を2種類から3種類に増やす。
財源 (資金調達)	会費・寄付収入の割合を収入総額の10%から20%に拡大する。

(9) 申請事業の収支予算 ※「収入合計」と「支出合計」は金額を同じにしてください。

【収入】

	内訳	金額(円)
1) 本助成金		
2) その他収入		
	収入合計	

金額の単位は、
すべて円としてください。

【支出】

費目	内訳および積算根拠（単価、個数など）	金額(円)	
		本助成金	その他収入
	支出合計		

ページをまたがないように
調整してください。